

2023 年 8 月 10 日

2023 年 7 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり、小ロット物件が中心で前年を下回った。

巻取は生損保、金融、チラシに大口物件の動きがほとんどみられず前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 92.2% 巻取 76.6%）

再生紙平判は入札案件の受注が多少増え、前年を上回った。

再生紙巻取は定期物件以外の仕事に動きがみられず、前年を下回った。

（前年比 再生上質平判 108.5% 再生上質巻取 84.4% 再生上質計 92.8%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 89.3%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 64.3%）

<A2 コート>

平判は旅行関連、大学のパンフレットで動きがみられたが、全体的には新規案件の減少等紙離れが進み、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は不動産、通販、食品デリバリーで動きがみられたものの、雑誌や大口案件の落ち込み、商流の変化等の影響により、グロス・マット共に前年を下回った。

（前年比 平判 87.4% 巻取 73.4% 全体 84.7%）

（2019 年比 A2 コート計 59.6%）

<A3 コート>

ドラッグストアや量販店、旅行などのチラシ案件で動きがみられたが、金融、生損保の動きは鈍く、大口スポット案件が減少している。平判は前年を少し上回ったが、巻取は大幅に前年を下回り、全体でも前年を大きく下回った。

（前年比 平判 101.7% 巻取 54.3% 全体 65.9%）

（2019 年比 A3 コート計 56.0%）

<ノーカーボン紙>

金融、生損保のみならず、年賀申込書など歳末商戦の申込書帳票の Web 化により、数量大幅減。コロナワクチン予診票などの動きは若干量みられたが、巻・平共に大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 83.2% 巻取 61.0%）

<上質フォーム>

コロナワクチン接種券の動きが出てきたが、自治体の税金納付書などの案件も 6 月で一段落し、他案件も全体的に非常に低調で前年を大幅に下回った。

(前年比 78.3%)

<包装用紙>

特殊両更は役所向けの封筒含め全体的に動きが見えず前年を大きく下回った。

(前年比 82.5%)

軽包装は印刷物の動きが悪い状況が続いており、製本会社向けの雑包装用途の動きが悪かった。また前年は大口のスポットのあった影響で大きく下回った。

(前年比 38.4%)

片艶晒は在庫不足による用紙の変更が継続されており、前年を大きく下回った。

(前年比 67.2%)

両更晒は一般企業向け封筒の需要減と全般的にも需要が減少して前年を大きく下回った。

(前年比 71.3%)

純白ロールはお盆向けなど、夏季の需要を見込んだ土産関連の包装紙に動きがみられ、前年を若干上回った。

(前年比 104.1%)

包装紙全体でも 69.3%と前年を大きく下回った。

<板紙>

コートボールは物価高騰の影響が未だあり、食品、菓子、日用品は低調であった。

特板は化粧品や POP は堅調だったが、テイクアウト箱や土産物は低調だった。

チップは出版が前年並みで、エンタメ系の DVD 向けパッケージに動きがあったが、電子部品や車向けの梱包材は低調であった。全体でも前年を下回った。

(前年比 94.1%)